

## 達人の町 おのまち

こんにちは。地域おこし協力隊の阿井由加子です。寒い日が続き、いよいよ冬本番となってきました。冷たい風が体に沁みますね。でもその分「あたたかさ」に触れた時の幸せな気持ちは何とも言えません。私が住んでいた静岡では、どんなに寒くてもマイナス気温になるのは年に3～4回。「今年は寒くなるぞ～。小野町はマイナス12℃、いやマイナス15℃になるな」と聞いてから私は動けなくなるのではないかと真冬の寒さにビクビクしています…でもその分、温かいご飯・暖かいこたつが以前に増してとても幸せに感じられる気がして、東北の暮らしもいいものです。

さて菊の展示会が11月、上羽出庭地区農村研修センターでありました。今年は小町ふれあいフェスタが中止となってしまい、場所を変えての展示となりました。天地人という仕立て方も初めて知り、バランス良く美しく咲いた姿が凛として、私も気持ちが引き締まる思いです。こんなにも立派な菊を多くの地元の人たちが作れるという点、さらにはその技術の高さがお一人ずつに備わっている点、これは小野町の誇りだなと思いました。ぜひ県内外からの多



菊の展示会

## 小野町地域おこし協力隊 阿井由加子

くのお客様に見てもらいたいです。

小野町民のお一人ずつが暮らしの中で自然と育んできた技術の高さはほかにもたくさんあると感じています。例えば、どこのお母さんも家庭料理がおいしく、保存食も作れる。野菜作り名人が多く、生育状態を見ただけで品種や健康状態、今後の適切な管理方法まで想像がつく。野菜の細かな味の変化に気付く。当たり前のことのように感じるかもしれませんが、これらも立派な技術の一つ。趣味も趣味の領域を超えたプロ級の腕前。仕事も趣味も一人で完結できる技術が何よりすごい。これはきっと、仕事も遊びも個人での学びはもちろん、ほかの人の様子を見たり話したりすることで、お互いに知識と経験を共有し勉強しているのだと思います。向上心と勉強、学びは何歳になっても大切です。生きる力だと感じます。

最後に、写真はつどって農園に玉ねぎを植えたものです。この日はぽかぽか陽だまりのあたたかな日でした。まだまだひよっこですが、農業の楽しみも感じながら生活しています。



玉ねぎ植え

広報おのまちは



で配信中



iOS用



android用



マイ広報紙のQRコード